

## 進路希望調査の質問欄より …代表的なものに答えておきます

※重複するものをまとめたり、一部改変したりしています。また、ここに載せきれなかったものも多数あります。個別に進路指導部まで相談に来てください。

**Q：指定校推薦の仕組みをもう少し詳しく知りたい。**

A： 大学と本校の信頼関係に基づいて、依頼があった大学に、基準を満たす生徒を推薦する制度です。8月末に公示し、9月上旬に校内選考をします。ただし、依頼校や基準は毎年変わります。昨年度依頼があった大学名と推薦基準は、5月に配信する予定の「合格体験記」の巻末に載っているので参考にしてください。基準を満たせば、コースにかかわらず応募することはできますが、2年生の間は一般入試を受けるつもりで学力を上げることに専念するのが一番です。

**Q：学校推薦型・総合型選抜について知りたいです。このような入試を考える場合、今の時期は何をすればいいですか？**

A： 大学・短大等がそれぞれ人物・成績・活動成績などの推薦基準を定め、その基準を満たしている受験生が出身学校長の推薦を得たり、自己の適性を示す書類を提出したりすることによって出願する入試形態です。一般入試より早い時期に実施され、特に志望理由書や面接・小論文が大きなウエイトを占めます。近年この推薦でとる割合が増えてきています。自分の強みを活かしたい人はぜひ考えてみてください。

そして、今の時期にすべきことは、まず自分の中に確固とした志望理由を作ることと、大学が求める要素とのマッチングを確認することです。特に志望理由の明確さは可否に直結します。将来像として、大学院進学や就職後のステージで何を成したいかを深く考え、では大学でどんな力が必要か、今は何から取り組むべきかと順に考えましょう。狭い領域だけを考えるのではなく、視野を広げ、柔軟な発想を身に付けるため、今の時期は積極的に多様な活動に挑戦して自らの可能性を広げましょう。

**Q：似た学部学科（理学部生物と農学部生命化学、経営学部と商学部など）の違いをくわしく知るにはどう調べたらいいですか？**

A： まずは大学情報誌や大学のホームページを見て、それぞれの学科で学べる内容やそれぞれの学科の研究内容（卒論など）を比べる。それぞれの先の大学院での学びについて調べてみるのもいいでしょう。また自分が興味を持っている分野で活躍している人の出身学部・学科を調べてみるのも手。その分野に詳しい先生に聞くのも手です。

**Q：進路の最終決定はいつですか？**

A： 2年生の6月に科目選択（3年生での選択科目登録）があるので、その頃に具体的

な志望学部・学科が決まっているのが理想。一般には、まず2年生11月の模試が5教科になる時期に、自分は何を受験科目として、どういう攻め方をするのか、しっかりとさえなければなりません。そのあと、進路ホームルームでも、受験生宣言をしたり、志望理由書を書いたりします。そして、もう1つは3年生5月です。2年生では模試で5教科受けても、機械的に計算された偏差値に基づいて判定されますが、これ以降、模試は志望校の配点を考慮した偏差値になり、マーク模試を共通テスト、記述模試を2次試験に見立てたドッキング判定も出るようになります。ですから遅くてもこの時期には、進路が決定されているのが望ましいといえます。

ただし、同じ受験科目・分野ならば、共通テスト後に自己採点の結果が出てから出願校を決定できるので、現実的かつできるだけ高い目標を目指すことを考えよう。

**Q：難関大を目指そうと考えていますが、下の学年から心がけておきたいことは？**

A： まず英数国を中心に定期考査で上位の成績が取れるように日々の学習を精一杯やること。小テストもその場かぎりで見えようとするのではなく、定期的に復習するなど、時間に余裕を持って大切にすること。幅広くいろいろな教科・科目についてしっかり学習すること。これらによって身に付く「基礎教養」がないと難関大は無理です。目的意識を持ってしっかり学習すると、早い時期に「自分に合った勉強方法」が確立できこれが財産となります。

**Q：やりたい仕事（例えばゲーム関係、医療関係）は決まっているが、そこへたどりつく道筋がわかりません。どう調べればいいですか？**

A： ひとつの方法は「なるにはBOOKS」等の職業を紹介している本で調べてみることです。また、スタディサプリやマナビジョンなどの検索ソフトを使う手もあります。その仕事に就く道筋や、その仕事に就いている先輩たちのアドバイスなども載っています。また実際に、仕事についている人に聞ければ大きな情報となります。しかし、進路の道筋が多様化した時代、専門職以外は、明確な道筋や正解の進路などないと考えてもいいでしょう。やりたい仕事→必要な知識・技能・資格→それが学べる学部や学科→今必要な選択科目……のように逆算して、まず、今やるべきことを導きだそう。

例えばゲーム関係ならば、コンピュータ理工学部やシステム情報学部の特化した公立大（会津大、はこだて未来大など）も調べてみるとおもしろいですし、ゲームを作るといっても、コンピュータに精通した人と、ストーリー作家のような人と、子供の心理などがよくわかっている人、流通販売のことがわかる人と、多くの人がプロジェクトチームを組んで進めていく時代ですので、いろいろな関わり方があります。

また、例えば病気で困っている人を助けたいという夢の実現には、もちろん医学部を経て医者になるというアプローチもありますが、胃カメラ・MRIやロボットによる手術など工学的アプローチも欠かせませんし、ワクチンの開発など難治療への技術発展といった薬学的アプローチ、さらには脳死判定や無医村の問題など法、社会的なアプローチも必要になってきます。さらに環境問題を考えてみても、海外の取り組みと比較して考えるために国際関係学部を選択する場合もあるし、環境にやさしい製品を作るために材料工学・エネルギー工学といった工学を選択する場合もあります。要は複雑だからこそ「自分に向いたアプローチ」を見つけることが重要です。

**Q：オープンキャンパスはどのように参加すればいいですか？**

A： 近頃、夏休みだけでなく、春休みや、合間の祝日など、何度もオープンキャンパスを開く大学が増えています。また、オンラインオープンキャンパスなども実施されています。ですからまだまだ参加できる機会があることを考えると、欲張らないで、自分のテーマを決めて参加するのがいいと思います。第一志望への気持ちが強いのであれば、遠方でも参加する価値がありますが、ざっくりとこれから絞っていくのならば、ひとつのサンプルとして近場を選んでいいでしょう。

「大学の雰囲気を知る」と決めたら、キャンパスツアーで先輩たちが学内を案内してくれる企画や、先輩たちと懇談できるようなコーナーがあるところがいいですし、昼に大学食堂でランチを食べてみたり、帰りに、学校のそばの「学生街」といわれるところを歩いて見たりするのもいいです。

「学部学科を知る」と決めたら、学部学科紹介のコーナーにいて、じっくり説明を聞くといいでしょう。そのあと、「〇〇学入門」のような模擬授業を受ければ、学部学科のイメージはさらに膨らみます。

「学問内容を深める」と決めたら、もう少し専門的な内容、例えば「人工知能」「免疫」「国際紛争」などの模擬授業を受けられるところがいいです。模擬授業についても、模擬授業を検索できるサイトも多いです。

「大学の違いを比べる」と決めたら、複数参加しなければなりません。その場合には、国公立と私立を比べるとか、総合大学と単科大学を比べると、異なる特色を持つところを選んで行ってみるといいでしょう。

**Q. やりたいことが決まっていない／将来の夢が決まっていない／大学で何ができるのか  
わからない／受験するのに必要な教科が知りたい**

A. 質問のなかで一番多かったのが、「将来のことが決まっていない／決められない」というものでした。いまは決まっているという人のなかにも、「絶対にここに行きたい」という強い覚悟のある人は少ないのではないのでしょうか。

まず、将来への不安やおそれは思春期に抱きやすい感情であり、ある意味では青春の特権とも言えるものなので、「将来のことが決まらない」と悩むのは当然のことです。先行きが不安になるのは、逆に言えばそれだけ可能性が広がっているということでもあるのです。ただし、「決まらない」からと言って「何もしない」わけにはいきません。大切なのは、とにかく調べることです。大学への進学を希望するなら、どんな大学があるのか、大学では何ができるのか、受験して入学するにはどうすればいいのか、大学のホームページを調べたり、オープンキャンパスに行ったりして、積極的に情報を収集しましょう。

情報があふれている世の中なので、私たちは「オススメ」を求めがちです。選択肢が多すぎて、自分では選べない気がするからです。一般的に「オススメ」なのは、やりたいことが明確になったときのために、なるべく社会的評価の高い（＝入学するのが難しい）大学に進学することです。また、そのためにはなるべく学力を高めておくことです。やりたいことが決まっていない人ほど、一生懸命学習しておくほうがいいのです。

ただ、「オススメ」される人生なんてつまらない、とも思います。ひたすら悩んで、調べて、相談してください。「決められない」ことに悩んで足を止めるのではなく、少しでも気になったことをすべて実行する勢いで、とにかく行動してください。そうやってあがいているうちに、答えが見つかることもあります。見つからなくても、あがくしかないのです。

**Q. 勉強方法が合っているのかわからない／勉強のやり方がわからない／数学・英語が苦手だがどうしたらいいか／学校の進度に合わせて学習していれば大学受験に対応できるか。**

A. 結論から言えば、学校の学習にきちんとついていけば、どの大学の受験にも対応できます。実際のところ、学年で一番よくできる人は、塾や予備校に行っていないことも多いです。ただし、ただ受身で授業を聞いているだけでは実力は身に付きません。予習をすべき教科はしっかり予習して「この授業で何を学ばなければならないか」を意識し、復習することで、「何ができるようになったか」を確認しましょう。授業についていけないと感じたら、迷わず教科担当や担任の先生に相談しましょう。また、いろいろな学習法を自分で試してみて、自分に合った学習法を見つけることは、人生でも最も大切な経験のうちの一つです。